

<b>キャプタン・ホセチル水和剤</b> <b>アリエッティ C 水和剤</b>	<b>取扱メーカー：</b> バイエル、琉産  <b>原体メーカー：</b> アリスタ LS、バイエル
<b>成分：</b> キャプタン〔有機塩素系〕……………40.0% ホセチル……………40.0% <b>その他 PRTR 該当成分：</b> ポリ(オキシエチレン)＝アルキルエーテル(PRTR・1種)…1.3%	<b>性状：</b> 類白色水和性粉末45μm以下 <b>毒性：</b> 普通物 <b>消防法：</b> ——

### 【品目特性】……………

- 保護殺菌効果があり、胞子発芽を阻害するキャプタンと、直接的な胞子発芽阻害効果の他に、植物体内に浸透移行して植物自体の持つ自己防衛機能を高めて菌の侵入を防ぐホセチルの混合剤。
- 植物体の生育盛期に用いるとより効果的で、予防効果が主体。
- 耐性菌出現のおそれが少ない。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

### 【使用上のポイント】……………

- 果樹に対しては基幹散布殺菌剤として同時防除をねらいとする。
- フロアブル剤と混用する場合、必ずフロアブル剤を最初に所定濃度に希釈して本剤を加える。

### 【薬効・薬害等の注意】……………

- 石灰硫黄合剤、ボルドー液、葉面散布肥料との混用はさける。また、ぶどう、きゅうりにはイミノクタジン酢酸塩・ポリオキシシン水和剤、りんごにはクロフエンテジン水和剤との混用はさける。
- きゅうり、ぶどうに使用する場合、無機銅剤との近接散布はアリエッティ水和剤の項参照。

- 適用作物（きゅうり、ぶどう、なし）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。
- おうとうに使用する場合、薬害を生じるおそれがあるので、5月下旬以降の散布には固着性の強い展着剤を加用しない。

### 【安全対策上の注意】……………

- 夏期高温時の使用をさける。
- 魚類に影響を及ぼすおそれがあるので、使用時は注意。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにする。
- 散布器具・容器の洗浄水及び空容器は適切に処理する。



【適用と使用法】 .....

作物名	適用病害名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用 方法	キャブタンを含む 農薬の総使用回数	ホセチルを含む農 薬の総使用回数
りんご	斑点落葉病 黒星病 輪紋病 すす点病 すす斑病 炭疽病 褐斑病	800 倍	200 ～ 700 ℓ	前日まで	3 回以内	散布	6 回以内	3 回以内
なし	黒斑病 輪紋病	400 ～ 800 倍		14 日前 まで			9 回以内	
ぶどう	晩腐病	400 ～ 600 倍		30 日前 まで			3 回以内	
	べと病 黒とう病	400 ～ 800 倍						
		灰色かび病						
おうとう	褐色せん孔病	800 倍	14 日前 まで	2 回以内	5 回以内	2 回以内		
もも	縮葉病		発芽前	3 回以内	4 回以内	3 回以内		
きゅうり	べと病 褐斑病	400 ～ 800 倍	100 ～ 300 ℓ		前日まで		5 回以内 (種子粉衣は 1 回以内)	